

一の宮っ子

第8号

新年子ども会大会



貴船連区

杵杵三・四丁目子ども会

六年 祖父江 真治

一月十二日に行われた「新年子ども会大会」に今回、初めて参加しました。

ぼくたちの子ども会は、「世界に一つだけの花」を歌って、おみくじ飛ばしをしました。

歌っている時に会場を見ると、みんないつしよに歌ってくれていました。おみくじを飛ばして、その時は後ろの方の番の人がステージの前まで来てくれて、大勢の人がおみくじを拾ってくれました。おみくじは、全部ぼくたちが作りました。どんな人が拾ってくれるのだろうかとかドキドキしながら作りました。すぐくきん張りましたが、ス

ページの上のぼくたちと会場の人たちが、一体になれたと思います。



遊びを考えたり、準備、練習と、たいへんでしたが、とても良い経験ができたと思います。

神山連区 馬引第三子ども会

二年 浅井 玲末香

私たちは連区の代表としてあそびをみんなの前ではつ表しました。会場にはたくさんの人がみにきていてぶたいに立つのがすごくいやでした。

私たちは手をつないでこうさしたり、またいだりしてぐちゃぐちゃにし、わに入ってない人が元のわにもどすゲームを発表しました。れんしゅうも本ばんもうまくできてよかったです。今思えばたのしい思い出になりました。この新年子ども会大会の中で一番びっくりしたことは、たいこです。女の人が長い時間たたいていました。大きな大きなたいこ中ぐらいたいの小さなたいこ色いろいろありました。すごく大きな音がしてびっくりしました。みんなのかけ声、えがお、音、リズム、すごかったです。私も一どやってみたいと思いました。また見たり出たりしたいです。

▼ドキドキ。みんなの前でうまくできるかなあ？

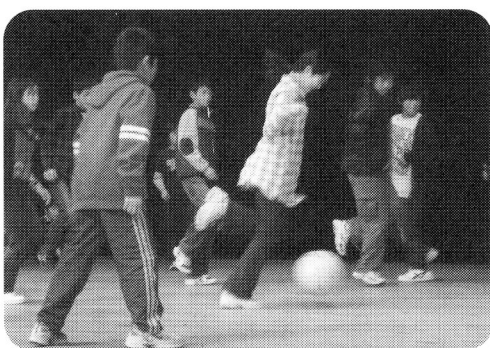


大志連区 日の出子ども会

六年 山口 若奈

今回私達が発表したペットボトルボーリングは、毎年五月の福祉大会で楽しんでいるゲームです。ペットボトルをカラフルにペイントするのも私達です。これを基に、大きな舞台で発表するのだから、ピンも大きくなくっちゃと、私達がピンになり、ボールのよけ方も片足立ちの方が難しいし、ボールが当たった場合だけでなく、両足を床についた場合もアウトになるなど、ボールの投げ方や、ルール作りもみんなであれこれ考えました。

本番の時は、たくさん練習したので全きんちょうしませんでした。一宮市にはいくつもの子ども会がありますが、他の子ども会がどんな活動をしているのか、実際に見たり聞いたりできる機会はあまりありません。こういう場所を利用して、新しい何かにチャレンジできる『きっかけ』もできるかな、と思いました。



▲ 目指せストライク！☆

新年子ども会大会

貴船連区

杵杵三・四丁目子ども会

日比野 由佳

新年子ども会大会に出演する事が、随分前に分かっていたんですが、何をどうしたらよいかさっぱり分からない状況の中、子ども達が楽しむ為にはどうしたらよいかを役員と子ども達で検討し、練習を経て本番を迎えました。

最初に「世界に一つだけの花」を唄った事で、子ども達もリラックスできたのではないかと思います。おみくじ飛ばしは何となく昔のゴム飛びの遊び等を思い出して頂けたのではないのでしょうか。私達の子ども達の頃は今の様にゲームは主流でないため、女の子の間ではゴム飛びが流行ったのです。



子ども達も楽しくおみくじを飛ばす事が、観客の皆さんも子ども達

も達が自ら作成したおみくじを楽しんで受け取って頂いた様子でとても良かったと思います。

時代は変わっても遊びは子ども達の創意工夫でいつでも生まれます。新年子ども会大会の遊びの発表に参加して、貴重な体験が出来た事をうれしく思います。

神山連区 馬引第3子ども会

野村 ルミ

一月十二日(土)とても寒い日でした。

新年子ども会大会に参加して本当に、びっくりさせられたというか、すごいパワーに驚かされたというか…。一つの行事に対して指導者の皆さんがどれだけ大変な思いをして、成功させているのか…。毎年やっているとはいえ、前もって話し合ったり、家庭との両立はとても大変だと思います。私は今回指導者をやってみて本当に大変で人数がいればいるほどまとめるのが大変で。

大会当日皆さんは何時に来ていたのか、リハーサルをやり、音声、ライトの調整、秒きざみの舞台裏、本当にびっくりさせられました。どこからこんなパワーが出るのか…。皆さん本当にお疲れ様でした。



▲とってもステキな演奏でした♪

大志連区

栄四丁目ひばり子ども会

新開 幸子

我が子の通っている大志小学校は、各学年一〜二クラスしかない小規模校です。今回の大会で遊びの発表をすることになりましたが単子での参加は困難な為、連区全体で高学年を募りました。

子ども達でルールや役割を決めて練習を開始しました。十二月の毎週土曜日に学校開放を利用して屋運で練習しました。時には協調できず、子ども同士でもめたこともあり冷々しました。

私自身は、我が子が四年生と二年生で今回の発表には参加しておらず、顔と名前が一致しない高学年の子と一緒に活動することには不安でした。それでも他のお母さん方の一所懸命な姿勢に感心し、今まで知らなかった

子ども達の個性を垣間見ること、いい経験が出来ました。

今の時代において、色々な学年の子ども同士で行う子ども会活動は、親にとっても子どもにとっても貴重な場であると思います。子ども会活動を通じて地域の子ども、大人とふれ合い、親子共に成長できたらいいと思います。今回の大会参加の機会を与えて下さってありがとうございました。

浅井町連区

小日比野本郷子ども会

五年 野田 花織

わたしが「新年子ども会大会」に行っておどろいたのは、わたしと同じ小学生の子どもたちがいろいろな場面で活躍していたことです。発表も司会もゲームの進行もみんな子どもでがんばっていました。じゅんぴから当日までいろいろ大変だったろうなあと思いました。

また、中学生のお兄さんやお姉さんの演奏したブラスバンドの曲も楽しかったです。ザードの「負けないで」米米クラブの「ろまん飛行」嵐の「ラブ・ソール・スウィート」など聞いたことのある曲がきっかけで、とても良かったです。いっしょに歌った曲もありました。わたしもブラスバンドをしてみたいなりました。

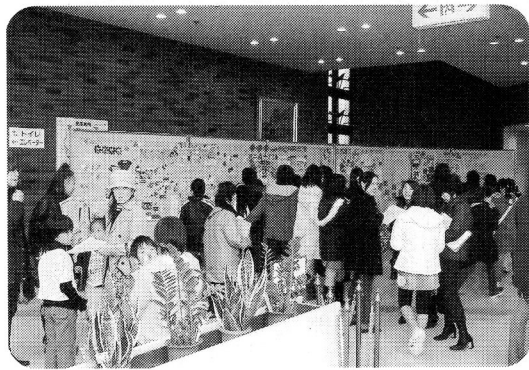
来年も、「新年子ども会大会」があつたら、行きたいです。

意見発表

西成連区 若年子ども会

六年 前原 里帆

私はこの一年間の子ども会活動をふりかえってみようと思います。まず春の行事ですが一年生を祝う会がありました。夏になると多くのイベントがあります。まずはビーチボールのチームも優勝目指してがんばりました。ビーチボールの試合が終わると遠足がありました。毎年工場見学に行ったりして遊びます。次にぼんおどりがあり地域の方の交流ができました。秋には町内の運動会がありました。どの町



内も負けないようにいつしよ
うけんめいがなりました。
冬になると最後の行事六年生
を送る会です。六年生を中心
におたのしみ会をしたり映画
を見たりします。今年はおー
リングに行く予定です。私は
これらの子ども会の行事に参
加したことを通してみんな
協力することの大切さとして、
みんなをまとめることの難し
さを学び 私達は精一杯がんば
りました。新しく六年生にな
るみなさんも、後輩の面倒を
しっかり見てみんなをひっぱ
っていつて下さい。皆さんが
卒業する時には惜しまれる六
年生になれるといいですね。

北方町連区

みどり子ども会

六年 飯島 淳

六年間の子ども会活動のう
ち印象に残った二つの行事に
ついて紹介します。

一つ目は四月に行われた町
内の人達とのお祭りについて
です。当日は小さい子からお
年寄りまで一緒に練り歩きま
すが、みんなとのバランスを
保つ事が意外と難しく、「早い
ストップ」と町内の人から声
をかけられました。また暑か
った年もあり、辛い事も正直
ありました。しかし、はげま

しの言葉ももらいながら最後
まで練り歩き、その後のジュ
ースや弁当がおいしく、たく
さんの会話で盛りあがりまし
た。

二つ目は七月に行われたキ
ックベースボール大会です。
高学年が主でほくは、四年生
から参加しました。初めての
時はきん張りましたが、みん
なにはげまされホッとしまし
た。五・六年になるとだんだ
んおもしろくなり、小雨の日
も練習しました。この結果、
優勝や準優勝も経験すること
ができ、町内の人からも「お
めでとう」と言われました。
みんなで力を合わせて戦った
結果だと思えます。

ほくは六年間子ども会とい
ろいろな行事に参加しまし
たが、本当にいい思い出にな
りました。ふだんは同級生と遊
ぶ事が多いほくですが、子ど
も会でみんなという時は学年
関係なく話をしたり、遊んだ
りします。そんな中で低学年
への思いやりや、町内の人と
のふれ合いなど、学校生活で
はなかなか味わえない体験を
することができました。これ
からも、この経験をいかし自
分の周りの人への思いやりを
大切にする心を忘れず中学生
活に臨みたいと思います。

代表者研修会



「代表者研修会に参加して」

木曾川地区 八幡子ども会

通木 佳子

今年度初めて子ども会の指
導者になり、今回の代表者研
修会に参加しました。

「一年を振り返り感じたこ
と」というテーマでしたが、
一宮市には大小様々な子ども
会があり、それぞ
れに悩みや問題点
があるのだと実感
しました。いろい
ろなお話が聞けて、
とても勉強になり
ました。

我が子ども会も
同様ですが、どう
しても子ども達は
受け身で大人主導
型の子どもの会が多
いなか、新しい試
みにどんどんトラ
イして、子ども達
と一緒に楽しんで
運営しておられる
指導者の方もみえ、
とても刺激になり

ました。子ども会活動を変え
ていくのはとても大変な事
です。しかし、子ども達が楽し
んで参加したいと思う子ども
会にするにはどうしたら良い
か、たくさんヒントを頂いた
ように思います。
今回得られた事を、次年度
の指導者の方に引き継いでい
きたいと思えます。

☆良かったこと

- ① 集会場がなく、近くの公共施設を借りて活動した。予算内の活動の為、無料の屋外の場所でも活動した。
- ② 役員、指導者間で当番制を活用し、スムーズに行事ができた。
- ③ 少人数ということを生かして、バスを利用せず、あえて公共交通機関で遠足へ出かけた。切符の買い方、乗り換えなど、社会勉強になった。
- ④ 大人の言う事よりも、上級生の言う事をよく聞くので、子ども達に行事の企画をさせたら成功した。子どもたちにも、達成感、満足感が得られた。
- ⑤ 子ども会の指導者をやって、いろいろな勉強ができて良かった。
- ⑥ 競技大会の時いつももめるので、皆で協力してやっていこうと声を欠けたら、全員が助け合い良かった。



? 問題点

- ① 外国人が多く言葉が通じない為、意志の疎通が難しかった。
- ② 行事の時役員に任せっきりで、協力が得られなかった。子どもを参加させるだけでなく少しは会の内容を知るなどの積極性が欲しい。
- ③ 福祉バスの抽選がなかなか当たらないので順番に利用できるようにならないか。

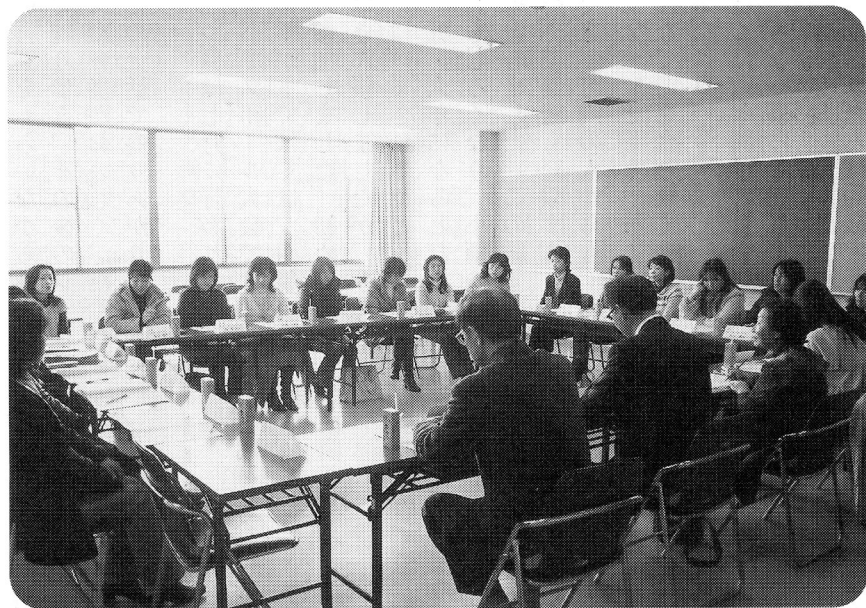
X 反省点

- ① 前年度からの引き継ぎがうまくいかなかった。
- ② 子どもが主体になる会がなかなかできなかった。
- ③ 娯楽があふれている現在、子ども達は何をしたら楽しめるのか、見いだすのは困難。
- ④ 新しいことを企画したいが、多大な労力と役員の責任能力が問われる為、なかなか踏み出せなかった。
- ⑤ 練習に参加できない子どもも多いので、その場に行つてすぐ出来る競技にしてほしい。

! 助言

- ① 物事は勇気を出してやる。
- ② 年度初めに、役員の引き継ぎをしっかりする。
- ③ 子どもと一緒に遊び、楽しむ。自分が楽しくなければ、子ども達も楽しく感じない。(二体感を味わう)
- ④ 指導者として苦勞した分成長もあつたと思う。

▼ みなさんの意見を参考に、今後の活動に活かしていきましょう。



指導者としてやり遂げた満足感を持って、次の協力者となれることを希みます。



▲ 知らないことがたくさん!!

平成19年12月22日と平成20年1月26日の2回に渡り国際交流会が行われました。第1回目は、フィリピン出身の「後藤ロシータ」さんによるゲーム研修、2回目はウズベキスタン出身の「ナルギザ・アミロバ」さんによる簡単なウズベク語のあいさつや数学、フルーツ等の読み方を教えてもらいみんな時間の経つのも忘れてしまうほど楽しくすごしました。

国際交流



最優秀作品

つたわるよ

めとめをあわせて
はなしたら 沖縄県

(与那嶺 暁 8歳)

平成20年度

「児童福祉週間」標語

行事予定

○平成20年度

一宮市子ども会指導者研修会
4月19日(土) 一宮市民会館

編集後記

たくさんさんの思い出と共に、六年生の子も達は子ども会ともお別れの時が来ました。この一年色々な原稿をお寄せ頂いて、広報部員もより良い紙面作りを心がけてきました。皆さんも今後地域の一員として子ども達を見守って下さい。

広報委員

- 渡部 規子 西山 和代
- 棚橋 久美子 田中 比登美
- 馬場 あや子 遠山 陽子
- 石井 順子 稲垣 悦子